

第 1 回大袋地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回大袋地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 7 月 28 日（日） 10 時～12 時
参加者数	20 人（傍聴者：1 人）
事務局	都市整備部：井出部長 政策課：戸張調整幹、須谷主事 都市計画課：田中副参事(兼)課長、木下主幹 市民活動支援課：稲田主事 大袋地区センター・公民館：高橋所長、石塚主事 ランドブレイン：石村氏、中原氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議題 (1) 地区まちづくり会議について (2) 会長・副会長の選出について (3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について (4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について (5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について (6) 越谷市及び地区の現状と土地利用の動向について (7) その他 5 閉会
質疑応答	(1) 地区まちづくり会議について (質疑なし) (2) 会長・副会長の選出について 会長・副会長が選出される。 (3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について (質疑なし) (4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について 質疑：西大袋土地区画整理事業や緑道整備について、目標年次までに達成できていない。 袋山恩間線は区画整理事業で施工しているので「調査検討」という扱いは違うの ではないか。 回答：土地区画整理事業は 8 年間延長させて頂いたところである。袋山恩間線の「調査 検討」という扱いについては地区外の部分のことであるが、測量等を始めており 今後検討していくことになっている。区画整理事業についても延長期間内で整備 を進めていきたいと考えている。

質疑：越谷市全体を見ると、老人福祉センターや保健センターも事業期間が延長されている。予定通りに進んでいないのでは。

「だれもが住み続けたい」まちづくりを考えていかなければならない。

回答：西大袋土地区画整理事業も含めて早くやらなければいけないということは重々承知している。計画期間内で区画整理事業を完了させ、人口も増やしていきたいと思っている。

質疑：さいたま市は電柱が地中化されている。越谷市ではやらないのか。

回答：千間台駅西口線では、地域の方からの要望も頂いている。地域の方から頂いた要望についても順位付けをして取り組んでいきたい。

(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について

質疑：千間台小学校と大袋小学校における児童数のバランスについて、学区審議会と今回のまちづくり会議では担当部署が異なると思うが、横の連携をもって検討を進めて欲しい。

回答：区画整理事業との兼ね合い、学校の在り方、児童数の推移を見ながら均衡のとれた学区の検討を進めていきたい。また、教育委員会だけではなく区画整理事業の進捗も関係があるので、あわせて市全体で取り組んでいきたい。

質疑：提言課題について、すべての項目はどこかの資料に書かれているのか。

回答：本日の資料は、5年前、10年前会議において提言いただいた内容を踏まえた進捗の概要についての説明となっている。そのため、すべての項目については、記載していない。次回の会議で資料提供させて頂く。

質疑：残り2年しかない状況で実施済みのものが2%しかない。どれくらい完了できるのか。

回答：実施済みになっているものは非常に少ない。実施中の区画整理や道路整備について全てが終わる状況ではないが、皆様からの提言については早く整備したいという思いでいる。次回以降のワークショップで、次の計画策定に向けた意見交換を行っていただければと思っている。

質疑：今回、新たに委員として参加している人は、提言までの経緯がわからないと思う。提言については、未完成のものが非常に多いのが実態である。

回答：資料が不十分であった部分もあったと思う。今後の意見交換の中でご意見をいただきたいと思う。

質疑：目標③検討中のものについて、残り2年間でどのくらい実施できるのか。「実施中」や「困難」という判断は、都市計画的な判断なのか。

回答：大袋小学校の老朽化について、通学区域の設定について検討中としている。大袋小学校の老朽化については、必要なものから優先的にやらせていただいている。通学区域の設定についても、先ほど申し上げたとおり庁内全体で取り組んでいきたいと考えている。

提言は10年で完了できるものばかりではない。検討していくべきものも含め、提言項目全体の現在の状況について説明している資料ということでご理解いた

だきたい。

質疑：次の会議までに提言書一式を事前に配布し、先に見ていただいた方がいいのではないか。まとめた資料を配っていただきたい。

また、都市計画マスタープラン概要版の10ページ、目標3大袋のコミュニティづくりは後から追加したのか。

回答：5年前10年前の提言内容については、改めてご確認いただき今後の意見交換を行っていただきたいので、次回の会議の開催通知とともに資料をお届けする。目標3はソフト面の目標のため、基盤整備を示す都市計画マスタープランには掲載していない。大袋地区の3つの目標全ては、総合振興計画の概要版冊子に掲載されている。

(6) 越谷市及び地区の現状と土地利用の動向について
(質疑なし)

(7) その他

質疑：10年前の検討事項について、次期の計画では、どの程度進行するのか。

回答：前回までの提言については、優先度も高いと認識している。次回からの意見交換の内容も踏まえて、引き続き、取組んでいきたいと考えている。

以上

第 2 回大袋地区まちづくり会議の記録

会議名	第 2 回大袋地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 8 月 18 日（日） 13 時 30 分～15 時 30 分
参加者数	18 人（傍聴者：1 人）
事務局	<p>政策課：戸張調整幹、須谷主事</p> <p>都市計画課：田中副参事(兼)課長、木下主幹</p> <p>市民活動支援課：稲田主事</p> <p>大袋地区センター・公民館：高橋所長</p> <p>ランドブレイン：石村氏、中原氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 グループワーク</p> <p>(1) グループワークの概要について</p> <p>(2) グループワーク「地区の現状と将来のまちづくり」</p> <p style="padding-left: 20px;">① 地区の強みと弱みについて</p> <p style="padding-left: 20px;">② 将来のまちづくりの目標について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	<p>質疑：今回、様々な意見を出しているが、第 4 次計画の提言内容が前提にある。</p> <p>回答：第 5 次の計画では、第 4 次計画の提言内容と今回出して頂いた意見を合わせて、とりまとめていく。</p>

■ワークショップ「地区の現状と将来のまちづくりについて」

＜A グループの意見＞

① 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
安心安全	<ul style="list-style-type: none"> ・外野合自治会周辺の道路は大雨の時冠水する。乗用車が水につかり動かなくなる事もある。 ・防災—防災倉庫の設置場所—学校敷地内の利用。 ・河川改修に時間がかかる様であれば橋の改修をやってほしい（3か所）。 ・元荒川橋付近における元荒川の堤防決壊の不安がある。 ・県立大学も開校して20年を経過し、更なる進捗促進や子供の居場所づくりを進めてもらいたい。 ・新方川（中堀橋）から上流に向って河川改修を行ってほしい。 	
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・西大袋土地区画整理事業早期完成と大袋地区センターの早期開設。 ・第2丸友、丸友第1、野合住宅自治会のエリア、大雨の時床下、床上浸水等の被害が出ている。 <p>周辺の道路も冠水する大竹排水ポンプ場の周辺に大容量のタンクを設置してほしい。</p>	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・積み残しの課題を引き続き実施すること。 ・副次核としての位置づけがされているがその対応が進んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が多い。
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての年代の横のつながりを考えていく方法。 ・異文化の人たちとどうつきあい関わるか。 ・自治会活動に無関心！ ・高齢化のため自治会活動の担い手が少なくなっている（運動会等）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千間台地区と春日部市千間の地区の交流（コミュニケーション）。 ・北部市民会館、大袋北交流館、せんげん台記念会館、大袋公民館（地区センター）の有効活用。

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・西大袋土地区画整理事業の一部が千間台小学校の学区に入っている為生徒数の不均等が起こり教育のバランスが悪い。 ・大袋小の校門から延びる道路には幅広い（3～4m）歩道を新設して欲しい。 ・大袋小の児童が登校時バイクと接触し骨折。 ・夏休み中、車事故で頭蓋骨かんぼつ。 ・大道遺跡博物館の設置（地区センター内）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立大との連携→学びのまちづくりの拠点とする。
農地・自然	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、農地が減った。何するのか取組みが必要。 ・具体的な取組みがわからない。 ・農業の担い手を確保、農業者団体の活動支援や、意欲的な担い手に対する支援者づくりを積極的にやるべきである。 ・太郎兵餅の取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅林公園をとりまく自然環境の整備・保全－梅まつりの充実発展。 ・越谷いちご農家発祥の地。 ・農地を利用した、ほたるの里の育成。
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・新方川に桜があるが、休憩する場所がなく、せっかくの満開時楽しめない。高齢者は行かない。 ・北越谷駅大袋駅～以北の高架化。 ・大袋駅の高架化！ ・東武鉄道の高架化を行う。 	
市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ・大袋駅東口の再開発を進めること。 ・大袋駅東口の整備。 ・地区センター、公民館を至急建設すること（老朽化対策を急げ）。 ・区画整理について、早期に事業を行う。 ・西大袋地区区画整理事業を早く進めること。 ・地区センターの早期移転。 ・西大袋地区区画整備事業の早期完成。同時に女性センターの建立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ショッピングセンターの活用と連携（イオン、カスミ）－災害時対応可。 ・千間台記念会館を廃止して、当面駐車場にも貸し出してもらいたい。

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・川を汚さないため生活排水を本下水管と接続配管したい。 停電すると合併浄化槽が機能しなくなる。 ・公共下水道をつなげられていない地域がある。合併浄化槽にして水質向上してくべきである。 ・千間台地区の空き家対策。 	

＜B グループの意見＞

② 地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
水害	<ul style="list-style-type: none"> ・（防災について）水害に弱い（全体）、地盤が弱い。 ・せんげん台駅周辺の水害。 	
住環境・ 空き家空き地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅混在のため、空地を確保。 ・堀の整備及び桜の木（照明） ・溜池周辺の早期整備。 ・最近、空家が多くなってきているので犯罪対策が必要。 ・小学校だけでなく中学校の通学路にも防犯カメラの設置をお願いしたい。 	
公園・水辺	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に対しての防犯カメラの設置。 ・袋山恩間線の早期実現。 ・手入れしていない木が生える公園が有るとよい。 ・道幅が突然狭くなる所がある、電柱が邪魔な所がある。 ・越谷の重要行事になってきている梅まつりの発展。 ・新方川・元荒川の護岸対策。 	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷梅林公園の保存と活用。 ・鴨場の地域活用。

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
区画整理・生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理は、部分的に工事がストップしており、道路の延伸が遅れている（一部地権者の反対もある様だ）。 ・防災上からも早期の工事着工が望ましい。 ・地区センターの早期建設、区画整理と公共施設整備の早期実現。 ・せんげん堀の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西大袋調整池周辺の整備と活用。
コミュニティ・連携、防犯・子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生が道に迷うことがある。道路整備が問題なのか。 ・子どもにも分かる案内。 ・こども 110 番の家の減少、避難場所としての周知の強化。 ・小学校の生徒数にかたよりがみられる。 ・小学生の下校時の見守りの方々が減ってきている。 ・小学校における児童数のかたより。 ・転入者は増えているのに、自治会や子ども会に関心がない方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷市、13 地区の中で子ども会数が多いのは育成しやすい。 ・県立大学と小中との連携。 ・県立大の協力と利用。 ・県立大の周りに田があるので心に潤いが生まれる。 ・自治会と子ども会の連携が強い。
駅周辺高架化	<ul style="list-style-type: none"> ・大袋駅東口の再開発。 ・鉄道の高架化。 ・東武線の高架化による踏切死亡事故の改善が必要。 ・踏切が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大袋駅西口の整備。

③ 将来のまちづくりについて（キーワード）

「将来のまちづくりについて（キーワード）」については、現行の提言書の目標を元に今後の意見交換を進める。

第 3 回大袋地区まちづくり会議の記録

会議名	第 3 回大袋地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 9 月 7 日（土） 10 時 00 分～12 時 00 分
参加者数	16 人（傍聴者：1 人）
事務局	<p>政策課：戸張調整幹、須谷主事</p> <p>都市計画課：田中副参事(兼)課長、木下主幹</p> <p>市民活動支援課：稲田主事</p> <p>大袋地区センター・公民館：高橋所長</p> <p>ランドブレイン：石村氏、中原氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 事務連絡</p> <p>① 大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会からの意見について</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大袋駅周辺地区まちづくり協議会の会長より、同協議会からの意見を提言書へ反映することについて説明があった。</p> <p>意見については、第 2 回ワークショップにおける意見と同様に提言書の作成に向け、まとめることとなった。</p> </div> <p>4 グループワーク</p> <p>① 「自分たちでできる取組」と「支援してほしいこと」の抽出</p> <p>② 「すぐのできる取組」と「時間がかかる取組」の整理</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
質疑応答	(質疑なし)

■ワークショップ「自分たちでできる取組」と「支援してほしいこと」の抽出

目指したいまち：(仮) 四季折々の豊かなみどりとやすらぐ水辺があるまちづくり（自然環境：農地・自然・水辺・公園）

＜A グループの意見＞

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の米づくり事業 ・農家の協力で子供達が野菜の栽培 ・越谷いちご農家の保護・発展 ・花や緑の表彰制度について実行委員会を設置して実施すると良いと思う ・太郎兵餅の取組み発展 	
緑の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会区域内公園の草花の管理整備 	
水害対策		<ul style="list-style-type: none"> ・せんげん台駅周辺の鉄道工事が終了するのを待つことなく、計画的に水害対策を図ってほしい ・新方川（中堀橋）から上流河川改修整備 ・元荒川・新方川の氾濫対策 ・新方川（中堀橋）上流にある橋の改修。（3ヶ所）車の通行等やっと通っている。 ・野合住宅自治会周辺の水害対策。原因は上流からの排水（生活排水、雨水）が大竹排水ポンプ場に集まるためです。 ・数か所の貯水タンクの設置 ・外野合自治会周辺の道路は大雨の時、冠水する。（意見）市で対策を立ててほしい。 1) 地下タンク（貯水）の設置、2) 元荒川に排水、3) 外野合自治会周辺の水害対策について、貯水タンクを荻島公園地下に設置する等の検討をして欲しい。
公園整備		<ul style="list-style-type: none"> ・梅林公園をとりまく…自然環境の整備・保全、梅まつりの充実発展 ・梅林公園の整備をきちんとする ・農地を利用した、ほたるの里の育成（梅林公園とドッキング）
防災		<ul style="list-style-type: none"> ・野合住宅自治会周辺の水害、①生活排水の処理と②雨水の処理を分ける、対策①本下水管を設置し接続する ・防災倉庫の設置場所、学校敷地内の利用
道路 (ネットワーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・袋山・思間線の移転交渉をすみやかに進めて早期実現に向けてほしい

《Bグループの意見》

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
水害	<ul style="list-style-type: none"> ・防災＜対策＞・自主防災部・防災クラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に対する対策、情報提供 ・護岸のさらなるかさ上げを望む ・首都圏外かく放水路は、大雨に機能するか？ ・当地区は、異常気象（線状降水帯等）に耐えるか？ ・国道4号線高架下のトンネル付近で洪水被害が発生している、改善が求められている（鯛之島自治会地区） ・防災＜対策＞・飲食物の備蓄・防災機材の整備（行っている） ・防災に対して避難場所への案内図設置（標識高く掲げる）
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・梅まつり、コミ協だけでなく地域全体としての取組、協力 ・①みどりの保全、市民農園の推進②自治会・地権者の協力を得ながらふれあい公園の推進 ・花いっぱい運動についてコンクールなどを行って、地域ごとで取り組むとか、公園の花壇などを活性化していく ・調整池の掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な場所へ防犯カメラの設置 ・防犯カメラの早期設置 ・梅林公園の梅の木に老木が多く危険。「越谷梅林公園」とうたう以上市として対策を講じてほしい。 ・公園内に防災倉庫兼コミュニティの場となり（避難所）となる建物を建てる許可
水辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ・越谷鴨場をもっと地元の人達に理解してもらうように特別に開放すべきではないか、特に小・中学生にそのチャンスを与えてほしい。 ・防災無線による水害発生予測、避難レベルの伝達 ・具体的な避難行動・情報の作成（各自治会にて） ・避難行動情報を自治会で作成→支援→地区のマップの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷に点在する畑は、防災面で大丈夫なのか？大丈夫でないなら、利用している人たちにやめてもらうようにしてもらいたい ・河川の道路は草が高く生えていて見通しが悪いので整備してほしい。 ・須賀川通りの用水の上を鯛之島のようなせせらぎ水路がほしい

目指したいまち：(仮) 活発な住民の活動が支える安全・便利なまちづくり（生活利便：駅周辺・住環境（空家・空地）・ネットワーク）

《Aグループの意見》

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
安心安全	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の充実（朝の登校・帰りの下校） ・埼玉県立大学との連携による子供の安全確保 ・地域の危険個所の地図づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・大袋小学校周辺の交通安全対策（歩道・スクールゾーン・出入口の確保） ・小学校や中学校等公共施設を利用した防災倉庫の設置 ・西大袋地区内土地利用の活用の種類 ・道路整備の完成イメージを共有 ・大袋小の校門から伸ばした歩道の道幅は広く新設して欲しい。幅は3～4m
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ショッピングセンターとの連携（イオン、カスミ）災害時の対応 	
鉄道		<ul style="list-style-type: none"> ・新方川に桜がある、満開時に楽しめるように休憩する場所を新設、春日部・越谷市でしっかりと協議して、令和2年春までに休憩する場所を民間の方に協力してもらい、歩行者天国に協力する
市街地整備		<ul style="list-style-type: none"> ・大袋駅西口と東口を結ぶ踏切のない直線道路の実現
住環境整備		<ul style="list-style-type: none"> ・調整区域内の生活排水の処理方法を変更したい。その方法は合併上水槽方式から本下水道処理を考えてほしい。

《Bグループの意見》

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
災害時の 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所の徹底と受け入れ対策 	
子どもの 安全・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の集団化充実 (現在も行っているが) ・防犯・子供、こども 110 番設置、連絡等 はどうか ・子供見守りの人員確保の難しさ、大袋小 は充実、千間台小は実現難しい ・子どもの見守り、各自治会だけで無理も 生じる所もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路照明灯の増設
住環境 空家・空地		<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策 ・＜空き家＞情報開示を（市当局） ・＜空き家＞個人情報保護の縮小を ・空き家の把握、建物の活用が難しいな ら見通しのいい空き地にしていけな いか？→更地にするときに補助金な どは出せないか？
生活環境		<ul style="list-style-type: none"> ・袋山恩間線の延長にある新方川の橋に ついて、道路との高低差有 (千間台西、せんげん堀)
駅東口・ ネットワーク		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画、駅周辺の道路の拡張が必 要・照明増 ・大袋駅東地区の道路がせまく危険、再 開発で道路拡幅を ・東武線の高架化と踏切対策 ・時間帯のバス増便（例）6時～8時頃、 18時～20時（西口）

目指したいまち：(仮)大袋の未来を拓くコミュニティづくり(コミュニティ：連携・教育)

≪Aグループの意見≫

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
人が集まる 仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが集まるイベント ・自治会、老人会、子供会の協働によるイベント、婦人防火クラブの実施 ・埼玉県立大学との協働によるコミュニティづくりの検討・実施 	
交流館 使い方PR	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設(北部市民会館、大袋地区交流館、千間記念館、大袋公民館)の利用PR、共同事業 ・交流館の活用、だれでも使えるPRが必要 	
教育		<ul style="list-style-type: none"> ・大袋地区内の小学校生徒数の不均衡是正

《B グループの意見》

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
自治会 コミュニティ (子ども・ 若者・高齢者 の交流)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入率の促進 ・子供、自治会内「学区割」の統一 (2校に分割されている例あり) ・自治会について、住居を構えた時に子供会や自治会に入ってもらおう。役職等に就いてもらうことは無理かもしれないが。 ・SNS等を活用して自治会のことも知らせていけないか ・自治会の活動や、重要性を周知させていく。転入者へ声かけするなど。 ・役員や当番活動の忌避感をどう和らげていけるか? ・子ども会をサポートできるような団体を作る? 	
地域活動 (子ども・ 若者・高齢者 の交流)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多くなり地域活動が難しくなっている ・60歳以上の人に体力検定会を行っている、年2回 ・大人、子供にハンデをつけない競技会を行っている 	
参加交流 (子ども・ 若者・高齢者 の交流)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で自治会活動を利用し、子ども達にいろいろなことを教えられる場所を作る。 ・自習塾のような活動への補助 ・仕事を引退した人達の協力で地域活動の支援、参加の促進 ・高齢者の集える場所及びイベント(自治会) ・異文化の人たちを知るための交流会のようなものを開く ・異文化への理解を深める勉強会 	
連携 (子ども・ 若者・高齢者 の交流)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ活動で埼玉県立大学への協力依頼 ・大林自治会を中心に近隣自治会交流会を年1~2回行っているが他にもこういう例はあるのか。 ・三世代交流、老人クラブは、子供達に「昔あそび」を指導 	
子育て対策		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭への支援充実を(財政的又は保育園増を) ・子どものスマホ使用の制限を
活動支援		<ul style="list-style-type: none"> ・青年会への補助金制度は?
高齢者支援		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援(今後、ますます増加する。支援を必要としている。) ・高齢者対策、自治会館を開放し、お茶飲み会等を支援

第 4 回大袋地区まちづくり会議の記録

会議名	第 4 回大袋地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 10 月 13 日（日） 10 時～11 時 15 分
参加者数	13 人（傍聴者：1 人）
事務局	<p>政策課：戸張調整幹、須谷主事</p> <p>都市計画課：田中副参事(兼)課長、木下主幹</p> <p>市民活動支援課：稲田主事</p> <p>大袋地区センター・公民館：高橋所長</p> <p>ランドブレイン：石村氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 提言書（案）について</p> <p>(2) 将来像の見直しについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
意見交換	<p>3 議題</p> <p>(1) 提言書（案）について</p> <p>意見：5 ページの目標 2 について、都市計画マスタープランの概要版には「都市計画道路袋山恩間線の調査検討」が入っているが、今回の提言書に入っていない。また、越谷市は中核都市になっているが、大袋は中核都市らしいまちになっていないので、その点も考えてほしい。また、4 ページの目標 1 には、「公園の草花の管理・整備」、「花いっぱい運動の活性化（コンクールの実施等）」が入っているが、現在はやっていないし、取り組むのも難しいのではないかと。できることを掲載したほうがよい。</p> <p>回答：袋山恩間線については、「幹線道路の整備促進」に含まれているが、具体的に記載する方向で検討する。中核都市については提言書の内容にはないが、全市的に取り組んでいきたい。「公園の草花の管理・整備」等に関する記載内容については、委員の皆様のご意見を踏まえて、検討させていただきたい。</p> <p>意見：目標 1 中の「四季を感じるみどりのネットワークの形成」で、調整池の清掃・管理については、現在、誰がどうやっていくのかが明確になっていない。前提として清掃・管理は必要であり、その上で地域において花を植える環境づくりに取り組むことが望ましいが、実際は難しい状況である。</p> <p>意見：調整池の清掃はもともと地域で行っていたが、継続して行くことが難しいと感じている。市の業務に戻したいという考えがあるが、地域としては協力する気持ちはある。</p>

意見：調整池の清掃・管理などによる環境が整備できてから、次の段階で、草花の管理・整備などは地域で行うことができるのではないか。

意見：「地域でできること」として、今後、協力してやるということによい。

意見：4 ページの目標 1 の重点的な取組 1－1 で「みどりの保全・活用のための取り組み」とあるが、活用は農地の活用のことを指していると思うので、文章表現を変えたい。「農地の有効活用」などを明記したほうがよい。また、「みどりの一端を担う農地と農家との連携」についても表現がおかしいので見直した方がよい。

回答：重点的な取組 1－1 については、「農地の活用」という表現に修正する。

意見：「みどりの一端を担う農地と農家との連携」については、「農地に対する農家との関わり」などの表現がよいと思う。

回答：参考にさせていただき、修正する。

意見：5 ページの目標 2 にある「大袋駅周辺のまちづくり」について、大袋駅東口の整備や既存道路の改修については市で行うことではないか。「地域でできること」として「検討」とあるが、具体的にどのようなことをイメージしているのか。

回答：「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」については、地元自治会や地権者及び利用者が構成され、大袋駅東口に駅前広場がないことから、東口周辺のまちづくりを検討するため、発足された。第 3 回のまちづくり会議で、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」から意見書が提出され、主な意見として「駅前広場の整備等の検討に関すること」や「既存道路の改修に関すること」が提案された。協議会を中心に地域で検討していただいた内容を踏まえて、市において整備の検討を行っていくことをイメージしている。

意見：「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」からの意見書において、5 つの事項の提案を受けたが、まちづくり会議の提言書の内容としては、5 ページ下部の 2 行のみとなっている。このままでよいか。

回答：これ以上、提言書の内容を細かくすることは、他の提言内容との釣り合いがとれなくなるので難しい。提言書に関連する資料として、「大袋駅東口周辺地区まちづくり協議会」の意見書を添付することはできる。

意見：細かい提案内容については添付するということがよい。

意見：既存道路の改修については、電柱の地中化も追加してほしい。

回答：商店街などの既存道路では、歩行者の安全性確保が課題となっており、電柱の地中化も検討が必要と考えている。提言書における既存道路の改修については、整備手法や区間が明確に決まっていない。電柱の地中化については、道路の改修もしくは新設が具体的になった際に可能性のひとつとして検討を行いたい。

意見：6 ページの目標 3 に「異文化との交流」が追加されているが、どのような内容を意味しているのか。

回答：大袋地区に限らず、市全体で外国人が増えている状況である。大袋地区でもコミュニティの形成にあたって何らかの形で交流ができたという意見があったため、今回の提言書に反映している。

(2) 将来像の見直しについて

意見：「梅かおる」となっているが、地区全体で見ると、梅林公園だけの特徴だと思う。部分的なところを将来像にするのはどうか。

意見：「梅かおる」というフレーズがないと、大袋地区の特徴が出てこない。大袋地区としての誇りは梅林公園や梅まつりになるので、前回も「梅の香」というキーワードが入っている。

意見：大袋地区を特徴づける言葉として、この言葉が出てくる。また、「学び」という言葉は、地区内に大学・高校があり、多くの小中学校があることも特徴である。他の地区の将来像をみても、「学び」という言葉はない。「梅かおる」と「学び」が地区の特徴的なキーワードではないか。

意見：「学びとやすらぎのまち」でよいのではないか。

意見：梅林公園は地区の端であり梅まつりを中心にするよりも、将来はもっと違うことを考えた方がよいのではないか。

意見：梅まつりそのものが広がって、他地区や近隣から多くの人に来てくれている。

意見：梅まつりは広く周知されているので、たくさんの方がきているが、将来は調整池を中心として大袋駅からのエリアを地区として盛り上げていった方がよい。一緒に取り組んでいけるとよい。

意見：今は梅が中心だが、10年後は調整池に桜を植えるなど、大袋地区の別の特徴が出てくるとよい。

会長：今回の提言書では、例の1つである「梅かおる自然と共生する 学びとやすらぎのまち 大袋」でいかがか。

委員一同：賛成

意見：将来像に「学び」というキーワードを入れることになったが、現段階では地区から埼玉県立大学への一方通行になっている。埼玉県立大学側は地区から重要な資源として見られていることを知らないと思う。今回は提言書の内容を何らかの形で埼玉県立大学に情報提供し、連携する機会を設けていきたい。

4 その他

- ・本日の意見を踏まえた修正・確認については、会長・副会長に一任する。
- ・総合振興計画審議会委員の選出について協議した。

以上